

第91話 雨乞い

中山町歴史散策

早魃による高温晴天が続くと溜池の水を節約しながら灌漑に用いましたが、やがて日割り灌水となり流末には水がいき渡らず、しばしば水争いになりました。

玉虫沼の水に頼った達磨寺村は常に水不足となり、玉虫用水組合の会合で途中の取水をしないように申し合わせしても実施されず、早魃時にはもっとも被害の大きな村でした。

このような事態は、小塩村・土橋村でも幾度となく繰り返されてきましたが、天候次第であり、つまるところ神の力にすがると他に方法はありませんでした。それが、「雨乞い祈禱」です。

この町では、岡千手堂、平塩の阿弥陀堂、土橋村月山神社、遠くは慈恩寺、白鷹山頂、天童近村では千布雨乞山などが「雨乞い祈禱」の場所でした。文化2年（1805）7月

4日、村山郡の早魃に際し、近隣諸村より寒河江慈恩寺において大祈禱会を行ったところ、6日目に雷雨があつてめでたく決願となつたと「山形県史」には記録されています。

雨乞いのもうひとつの形は、霊現あらたかな神社に絵馬や神像を寄進することでしたが、正徳3年（1713）3月には、早魃を恐れ、岡千手観音堂に黒馬の「繫馬之図」が奉納されました。黒馬は、古来雨を呼ぶ馬と信じられ、岡千手観音も雨乞い観音と言われたことから見事な奉納絵馬が飾られました。

また、嘉永5年（1852）には、柳沢村の石子神社に「木彫雷神之像」が雨乞い奇進のため奉納されています。

※参考 中山町史 中巻 第9章第2節 冷害・旱害の記録と対策

石子神社例大祭



9月9日、柳沢地区にある石子神社で例大祭が行われました。

石子神社には、子授け・安産の神が祀られており、

そのご利益が口伝えで広がり、県外からの参拝者も多く訪れます。

例大祭には、子どもが無事に生まれたとお礼の参拝に訪れた親子のほか、町内外から子授け、安産、子どもの健やかな成長などを願う多くの方が足を運び、それぞれ願いをこめて参拝していました。

▼今野小梅ちゃん（柳沢）5月に生まれた女の子です。この日は、お母さんが小梅ちゃんを連れ、小梅ちゃんが元気で生まれたことのお礼の参拝に来ていました。



「くんじちは」

楽天vs日ハム 熱い戦い!



9月9日、荘内銀行・日新製菓スタジアムやまがた（県野球場）で、楽天イーグルス対日本ハムファイターズの2軍公式戦が行われました。

試合開始前のオープニングセレモニーでは、楽天イーグルス中山町支援本部部長の天津町長から楽天・日ハムの両選手に町の地酒「ひまわり娘」が贈呈されました。また、この日は選手から直接サインがもらえるサイン会などのイベントが開かれたほか、中山町民の無料招待デーということもあり、球場には1500名もの野球ファンが詰めかけました。

試合は惜しくも1対3で楽天が敗れてしまいました。観客席が一体となり、ヒットが出るたびに周囲の人と喜び合う場面もあり、野球ファンには楽しい1日となったようです。



町民テニスコートが新しくなりました

スポーツ振興くじの助成金を受けて、9月19日、町民テニスコートが新しい人工芝のテニスコートに生まれ変わりました。

リニューアルを記念して、9月23日には初心者テニス教室も開催され、参加者は秋晴れの下、テニスを楽しみました。

信じよう。スポーツの力を。



地区新人戦結果

9月27日・28日に、東村山地区中学校新人体育大会が行われました。結果は次のとおりです。

■優勝 (いずれもブロック大会出場)

ソフトテニス男子、剣道女子

ソフトボール、バスケット女子

野球、バスケット男子、サッカー、ソフトテニス女子、剣道男子

個人

■優勝

剣道女子 奥山璃胡 (ブロック大会)

陸上女子200m 原 伶奈

陸上女子1年100m 原 伶奈

ソフトテニス男子 (いずれも県選手権大会出場)

渡邊光樹・本間海斗ペア

■第2位

卓球女子(1年生の部) 渋谷真瑚

剣道女子 小野寺南汐 (ブロック大会)

柔道男子66kg級 最上 豪 (ブロック大会)

柔道男子73kg級 黒澤太雅 (ブロック大会)

ソフトテニス女子

江端笑花・石沢菜々子ペア

■第3位

卓球男子(1年生の部) 渡邊航大

卓球女子(1年生の部) 山本真由

剣道女子 秋葉美緒 (ブロック大会)

水泳男子200m自由形 橋本駿彦

柔道男子81kg級 井上立士郎

なかやまタイムスリップ Vol.17

今から46年前…

1968 (昭和43年)

町民レクリエーション大会開催

親子が手を取り合い

昭和43年、当時できたばかりの中山中学校の新しいグラウンドで、町民レクリエーション大会が開催されました。それまでの全町民参加型のイベントといえは毎年夏開催の町民盆踊り大会でしたが、レクリエーション大会は初の試み。

大会は町内各地区11チームの対抗戦で、町民約2千人が参加。競技は子どもからお年寄りまで楽しめる22種目で、小学生のリレーから始まり、親子風船割り、100m競争、借り物競争、親子三代競争など。応援ではハカマ姿やハンテン姿の応援や消防のはしご乗りなど、華やかで白熱した応援合戦が繰り広げられました。

大会最後には圧巻の約1千人による花笠踊りが行われ、大会は大成のうちに幕をおろしました。



町民レクリエーション大会は昭和43年から昭和45年までの3年間開催されたんです。



案内人 すもものしずくちゃん

すもものしずくちゃんの詳細はフェイスブックで